



## 段階的再開に向けて

教育長 田中 康寛

2月末から新型コロナウイルス感染の拡大防止を図るため、各園・学校の休園・休校及び社会教育施設等の休館・休所の措置を行ってまいりました。この度、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が解除されたことを受けて、順次段階的に感染拡大の防止策を最大限講じながら各施設等の状況に応じて再開してまいります。また、各施設等の利用者におかれましては、利用に際して制限等をさせていただき状況は続きますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

各園・学校も、6月1日から段階的に再開いたします。在校生は約3か月、新入生は入学の実感のないまま約2か月もの間、今までに経験したことのない環境の中で過ごしてきた子どもたちの心境はいかばかりでありましょうか。学校の再開にあたり、ある1年生の保護者の1人は「学校再開はありがたい。ただ、うがいや手洗いを自分でできるのか、一気に勉強を詰めこんでついていけるのか、心配は尽きない」と打ち明けてくださいました。授業も感染防止が最優先となります。これまでは、子ども同士の対話を重視し、グループによる討議や互いに向き合って発表する試みを積極的に行ってきましたが、飛沫による感染リスクを低減するため、当面の間全員が前向きに座って授業を受ける形にせざるを得なくなります。

多くの方々が様々な思いを抱える中で、各園・学校では、密集状態を避け、感染リスクをいかに低減させるか、そして休園・休校期間中の学習の遅れをどのように取り戻すか等やるべきこと、やりたいことに優先順位をつけて計画的に進める準備を整えています。

まず、学習面です。一人一人の子どもの学習状況によく目を向けて取り組んでいきます。

また、生活面においては、家庭内の環境も千差万別の中で、想像のつかない環境で過ごしたであろう子どもたちに対し、何よりも心のケアを最優先にし、併せて各ご家庭との連絡を密にし、子どもの取り巻く状況を見極めつつ、子どもも保護者も安心できる対応に努めます。

そして、健康・安全面においては、教科の学習だけでなく学級活動や日常の指導を組み合わせながら学びを進めていくとともに、病原体の性質が予防策に関係するといった基礎知識、確かな情報源を選択しデマや偽情報に惑わされない能力、偏見によるいじめを許さない態度を養うことにも努めます。

新型コロナウイルスの影響により、私たちの生活は一変されました。私たちが今出来ることを一つ一つ積み重ね、しっかりと先を見据えながら、着実に前へ進んでいくことにより、子どもから大人まで全ての方々が、一日でも早く安心して日々笑顔で過ごせる平常へと移行していくことを切に願っております。